



# 森ボラ 通信

第227号 2021年4月20日発行  
NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**  
URL <https://www.shinrin-npo.info/>  
札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター  
TEL (fax): (011) 816-7010  
E-mail: hshinrin2002@nifty.com

## ■ トピックス

### ◆ 冬季セミナー感想

#### 吉田俊也教授「択伐施業林の50年 毎木調査からわかったこと」

演習林訪問は人気が高く、今まで北大苫小牧3回・雨龍・中川、東大富良野2回、九大足寄などを見せてもらい、私たちの森づくりに大いに役立っていると思います。勿論学術的な事などわからないことも沢山ですが森が大事に育てられているのを知るだけで森づくりの見本となっています。

今回は、北大演習圏ステーション(現在の呼称)の北管理部(雨龍・中川・天塩)部長で雨龍・中川訪問の際にもお世話になった吉田俊也教授に3月18日、Lプラザに来ていただき講演を聞くことが出来ました。広葉樹天然林で50年間択伐しながら保全して来た遠大な研究結果です。北海道には放置された天然林が沢山あり金にならないので採石場になったり伐開され太陽光発電場になったり投資用に外人に売られています。



このようにもう成長しなくなった木だけを切って販売しながら森を育てていくことで採算の合うような日が早く来ることを期待します。

毎回のセミナーの最後には質問の時間がありますが会員の皆さんの活発な質問は驚きます。この年齢を超えた知識欲、参加意識は当協会の特徴だと思います。上下関係のないボランティアの組織構造が会社組織とか学校とは違って積極人間をつくっていると思います。年はとつてもまだ択伐するには早い気がします。(文・酒井)



中川択伐施業林訪問時の択伐試験地の全景(2019年9月)

## ■ 活動報告

### ◆ 2020 第7回親子森林教室・森しり隊 活動報告

早いもんだなーあ！ ついにファイナルステージ！

春の息吹を感じる澄川の森で「第5期森しり隊」修了式だ！

3月14日(日)曇り気温+8.8℃湿度39%と、北上中で心配だった春の低気圧は函館で足踏みしてもらったお陰で風も無くまずまずのコンディションの中、2020年度第7回親子森林教室が開催されました。残念ながら隊員1名が欠席となりましたが、隊員10名、保護者12名、協会員19名、総勢41名の参加者となりました。今日は2020年度最後の親子森林教室となり、例年であれば駒岡保養センターで修了式を行ってましたが、コロナ対策のため最後も澄川の森での修了式となりました。

今回も雪の上での活動となるため親子全員にスノーシューを履いてもらいます。朝の受付時に手渡すと前回で履き方をマスターしたのか、スムーズに装着完了。いつものように9時半過ぎに清澤

隊長による朝礼の開始です。今回は隊長さんのイケズな「スノーシュー外せ」コールは無く、ラジオ体操をバタバタさせながら終わらせて、いよいよカリキュラムのスタートです。

まず始めは「樹液採取」です。今回も密を避ける為に3班に分かれて、広場から上流橋に向かう坂の途中、作業道沿いの3か所のイタヤカエデに取り付けた樹液採取タンクを目指します。班毎に樹液の採取方法や木に開けた穴から滴り落ちてくる様子を観察したあと、樹液を味わいました。そして最後には事前に煮詰めて40分の1に濃縮した「メイプルシロップ」をクラッカーに付けて堪能！「あまーい！」の声と共に「おかわり」続出で大好評でした。



イタヤカエデから樹液を採る方法を観察

次に酒井長老から「葉っぱの話」の総まとめのお話です。春に葉っぱが出てから夏に光合成して酸素やデンプンを作り、秋には紅葉して落ちて土に還り、冬の寒さでも凍らない理由等々、四季毎に葉っぱや木の役割や仕組みを子供にも解る内容と父兄向けの内容を交互にお話いただきました。ただ父兄向けの話ではカルビーならぬカルビン回路やら難解な単語がポンポン飛び出し、奈良漬けアタマの私には厳しかったです！



イタヤカエデから樹液を採る方法を観察

帰り道はクマゲラの食痕や根開けの様子、タヌキの巣穴があった所などを見つつ、融けてザクザクの雪に苦労しながら森の中を散策して広場前まで戻ってきました。

次に「マイリーフ作り」です。「森ボラの母」西野さんの指導で春と秋に隊員が採取して「押し葉」にした葉っぱをラミネート加工して完成です。完成後、各自のマイリーフを発表してもらいました。

さあ最後は修了式です。はじめに我々がリーダー（最近お腹廻りの成長が著しい？）樞棒代表から挨拶をいただき、次に森しり隊員全員が1年間の感想文を発表、キノコの植菌や下草刈り、運動会、ソリ滑り等々多くの子供たちが楽しい思い出を作れた様子でした。保護者の方たちからもコロナで思うように出歩けない時に自然と触れ合う機会を作ってくれた事等々、感謝の言葉をいただきスタッフ一同感激しました。そして協会員からは松井長老から「森の中ではもっと元気出して！」と最後のエールを、合田さんからは「この教室に応募した父兄が立派！」と自分の孫を連れてこない我が子と比べたお祖母ちゃん目線で（私も右に同じ！）感想を述べていただきました。最後に清澤隊長からはコロナに翻弄されながらも、発症者を出さずに7回やり遂げる事が出来た事を、参加した親子や協力してくれた協会員そして事務局全員に感謝の言葉を述べられ（感極まっておりますなあ）無事に解散となりました。



イタヤカエデで作った修了証書を贈る

一年を振り返ると、開校式が遅れてどうなる事かと思っておりましたが、何とか試行錯誤をしながらの一年でした。子供たちが森を育てる体験を通して、自然と触れ合う事の喜び、森が人類において無くてはならない大切な存在である事をみんなの記憶の片隅に少しでも刻まれる事を願うばかりです。**だから森しり隊の活動は来年も、再来年も老骨にムチ打ちながら、ずーっと継続していく事が我々ジジババの最後のご奉公なんだろうな！**と我思う、ゆえに森ボラあり。（文・松藤）

## ◆ 現場報告：野幌道有林の活動

3月30日(火)に会員14名の参加により、野幌道有林169林班にて雪解け後の食害防止網、稚樹および植栽木の状況確認を行いました。

食害防止網は雪の沈降力による垂れ下がりがありましたが、持ち上げて張りなおすと元通りになり、安心しました。10m角の食害防止網は四隅に自前の杭を打ちましたが、頑丈でビクともしませんでした。3m角の食害防止網は市販の杭が一部で曲がっていたので打ち直しをしました。



自生稚樹の食害状況

自生稚樹、植栽苗は食害防止網の中では被害を受けていませんが、網の外の樹木は自生、植栽の違いに関係なくシカ、ウサギ、ネズミなどの被害を受け、今後の成長に大きな危惧を覚えました。会の活動地の支笏湖周辺、有明環境林などと同様と思いました。野幌では活動当初には、シカはこちらではあまり見かけないとのことでしたが、風倒により広く開かれて餌を探すのが容易になったのではと思われます。

当会の今までの活動から広葉樹を育成する場合は、食害防止策が欠かせなく、育成費は膨らみますが、食害防止網またはツリーシェルターなどの対策を講じるようにしたいと思います。(文・樫棒)



54 小班 3m 角食害防止網内の植栽木確認



57 小班 10m 角食害防止網の点検補修

## ■ 澄川の自然 20



### エゾヤナギ (ヤナギ科)

今年は早くに暖かくなり、この木は3月中旬頃には白い芽を出していました。

活動地の駐車場から小屋へ向かう途中、坂を下る手前右手に他の木と一緒に立っています。

テント小屋をつきぬけているのがバッコヤナギ、テント入口の太い木がシロヤナギです。(酒井さんより)

シロヤナギはキャリコ橋の所にも高さ20m位のがありますよ。今年はヤナギ類を勉強します。

(文/西野澄子・写真/三橋)

### 新入会員の紹介～よろしくお願ひします！

老田一世さん (札幌市中央区)

4月5日に体験入会で来て頂いた時に直ぐにみんなと打ち解けて、それからの活動日には毎回参加している里山歩き、旅行、読書が趣味のとても元気なナイスレディです。(事務局)

## ■ 今月の幹事会

出席者(4月8日):市山・大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・佐野・釣井・三橋・矢澤、矢野  
(松藤、西野(澄))

- 2021年5月、6月スケジュール(5月幹事会5月6日(木)):澄川清掃活動、ホダギ管理(及川さん)追加。
- 2021年3月会計報告:了承。
- 第7回親子森林教室報告、2021年度第1回予定、子どもゆめ基金状況:いずれも了承。
- 森林・山林多面関係申請状況:了承
- 札幌市みどりの管理課打合せ(4/15):都市環境林の活動、「みどりの基本計画」について、  
整理伐材の利活用。意見交換を継続希望。
- 森ボラHP見直し:軽微なものから進める。会員との情報共有機能を高める。
- 現場報告
  - ・ホダ木状況:シイタケ・ナメコ各75本程度。駒菌各3000個購入。
  - ・整理伐状況:E-7区の整理伐着手。残りは次年度に継続。
  - ・3/30野幌道有林活動:食害防止網・苗木食害状況を確認。広葉樹は対策必要。
- その他
  - ・道種苗組合青年部より苗木の提供:広葉樹苗木155本。澄川、有明、野幌、支笏湖に植栽。  
広葉樹には食害対策としてツリーシェルターなどを導入。
  - ・3/26澄川南小学校活動打合せ:今年度は森での活動を再開予定。
  - ・4/22臨時幹事会開催(エルプラザ):総会資料の確認。

## ■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
3月17日(水)	澄川	16	D-2区整理伐・集材、樹液採取
3月18日(木)	エルプラザ	20	冬季セミナー(北大研究林北管理部吉田教授)
3月20日(土)	澄川	-	コロナ対策により中止
3月23日(火)	澄川	19	E-7区整理伐、D-2区集材・ホダギ作成
3月27日(土)	澄川	15	E-7区整理伐、D-2区より集材・運搬
3月30日(火)	野幌道有林	14	食害防止網点検補修、植栽苗の食害状況確認
4月2日(金)	澄川	-	コロナ対策により中止
4月5日(月)	澄川	18	E-7区整理伐、親子森林教室準備
4月8日(木)	ラズ生活研究センター	13	幹事会
4月10日(土)	澄川	24	E-7区整理伐、親子森林教室準備
4月13日(火)	澄川	19	D-3~8区ツル切り、親子森林教室準備 作業道点検・危険木整理
4月15日(木)	澄川	-	コロナ対策により中止